

# 配達業務中の転倒、交通事故を防ぎましょう

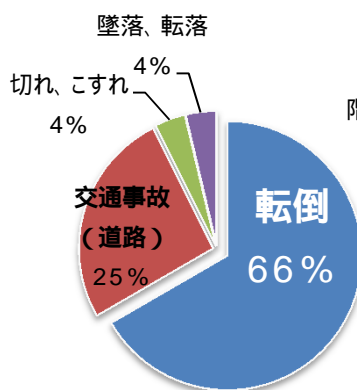
## 新聞販売業における労働災害の現状は？

秋田県内において、新聞販売業の労働災害発生状況は、平成24年から平成26年までの3年間で死亡者数は0人でしたが、休業4日以上災害で54人が被災しました。

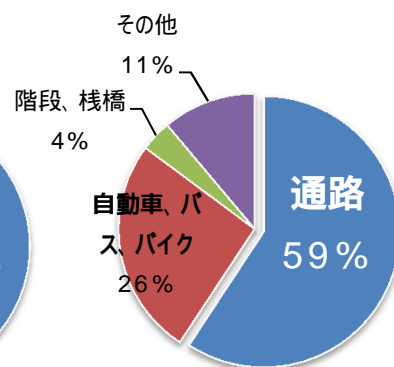
新聞販売業の労働災害の推移



事故の型 (24~26年計)



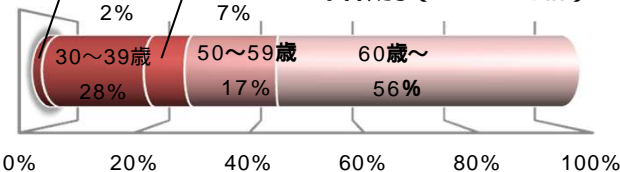
起因物 (24~26年計)



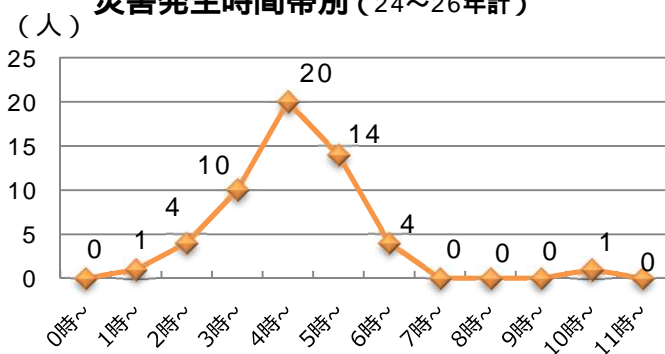
災害発生月別 (24~26年計)



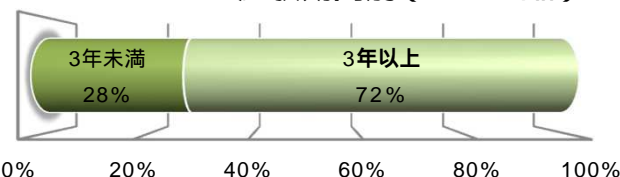
年齢別 (24~26年計)



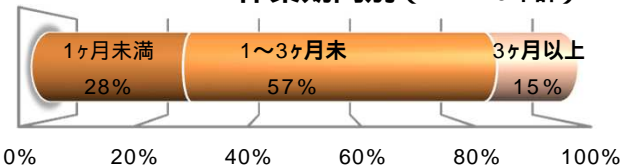
災害発生時間帯別 (24~26年計)



経験期間別 (24~26年計)



休業期間別 (24~26年計)



労働災害の発生時期や時間帯に注目すると、発生月では、**12月、1月、2月**の3ヶ月間に33人(61%)で、また、発生時間帯では、**午前3時台~午前5時台**の3時間に44人(81%)が被災しており、**冬季や夜明け前から早朝にかけての時間帯に注意**が必要です。

**経験期間別では3年以上の方が39人(72%)**で、また、年齢別では、**50歳以上の方が39人(72%)**であり、ある程度の仕事の**経験がある方**や**高齢者**が被災しております。休業期間別では、**1ヶ月以上の休業**を要する方が39人(72%)で、手首や足の骨折等の重傷化するケースが多数を占めております。



# 配達業務中の労働災害の防止対策は？

## 対策1 . 配達、集金中の転落・転倒事故を防ぎましょう

注目！

### 転落・転倒災害防止のポイント

- 1 . 事業者は、労働者に滑り止めのある靴を履かせて業務を行わせましょう。
- 2 . 事業者は、時間に余裕のある配達計画を作成し、労働者が慌てることがないように業務を行わせましょう。
- 3 . 階段の上り下りは、慌てず、足元に注意して、荷物等（配達中の新聞束も同様）を出来るだけ片手で持ち（袋を使用する等）、手すりを使用するか若しくは壁際を昇降しましょう。
- 4 . 事業者は、転落・転倒事故が発生した場所の情報、ヒヤリ・ハット事例に基づき、交通事故と同様にヒヤリマップを作成し、配布・掲示、啓発等を行いましょ。

## 対策2 . バイク運転中の交通事故を防ぎましょう

1 交通事故の多くは、朝刊配達時のバイク運転中に交差点等で、自動車と衝突することなどにより発生しています。

2 その他、運転中の対向車線へのはみ出し、前方不注意、バランスを崩しての転倒・転落事故等が発生しています。

注目！

### 「交通労働災害防止のためのガイドライン」に沿った対策を進めましょう

- 1 . 労働災害防止は事業者の責務です。事業者は、対策を積極的に推進しましょう。
- 2 . 労働者は、事業者が行う安全対策に協力し、交通労働災害防止に努めましょう。
- 3 . 事業者は労働者に対して、雇入れ時教育、日常の教育を徹底し、交通法規の遵守の徹底を図るとともに、交通労働災害防止のための知識を付与しましょう。
- 4 . 事業者は、交通事故発生情報、ヒヤリ・ハット事例に基づき、新聞配達ヒヤリマップを作成し、配布・掲示、啓発等を行いましょ。
- 5 . 事業者は、異常気象時には、走行の中止や安全な場所で一時待機する等労働者に適切な指示を行いましょ。

## 対策3 . 災害の再発防止対策を徹底しましょう

注目！

### 再発防止対策のポイント

- 1 . 新聞配達区域の危険箇所の洗い出しを行い、ヒヤリマップの作成・周知を行いましょ。
- 2 . 交通ルールを順守するため、ヒヤリマップの活用等により安全教育を実施しましょ。
- 3 . 危険予知(KY)活動による、交差点進入時の減速及び左右確認等の安全確認の励行を行いましょ。
- 4 . 新聞配達時のバイク運転中のライトの点灯及び蛍光ベルトの着用等目立つ格好での走行により安全の確保を図りましょ。
- 5 . 余裕ある配達作業時間を確保し、安全行動を励行しましょ。
- 6 . 交通労働災害防止のための管理体制の確立をしましょ。
- 7 . リスクアセスメントの実施により、リスクを軽減し労働災害の防止を図りましょ。